

久斗山地区公民館だより



令和元年
7月号

25日発行

久斗山地区公民館

ご挨拶

今年は例年になく遅い梅雨入りとなり、その影響で梅雨明けもいつもより遅れてしまいました。

ようやくじりじりと太陽が照りつける暑い夏がやってきました。

久斗山地区公民館は5年ほど、お休みしていましたが、今月より再始動することとなりました。年号も令和となり、徐々にではありますが、活動をしていきたいと思います。どうか、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【七夕集会で笹巻を作り、星に願いを短冊に】

今年の7月7日、七夕の日はちょうど日曜日でした。

この日、地区の子ども会とすこやかクラブの皆さんによって、七夕集会が開催されました。参加したのは大人、20人、子ども14人です。

はじめにお団子の粉を捏ねて、それに餡子を入れて丸めます。それを笹の葉っぱ7枚を使って包み、「とうすめ」と呼んでいるイ草で結んで笹巻を作ります。子どもたちは、お年寄りに作り方を教えてもらいながら、みんなで協力して笹巻をいっぱい作りました。それが蒸し上がる間、色紙などを使って短冊を作り、願いを書いて竹の枝先に結びました。蒸し上がった笹巻は、みんなで美味しくいただきました。

最近では笹の葉をシカが食べるので、綺麗な葉を山から採取するのが、難しくなりつつあります。子どもも少なくなり、この行事がいつまで続けられるか判りませんが、お年寄りと子供と一緒に仲良く活動できる行事でもありこの先も続けられるようにと、星に願いを込めました。



笹に短冊をつけて、出来上がった笹巻をみんなで美味しくいただき



お年寄りに教えてもらいながら、お団子を笹で巻きます



色紙の短冊に、願いを書きます

【捨てるゴミも大切な資源に、資源ゴミ回収】

私たちは日々の生活の中で、多くのゴミを捨てていますが、リサイクルすれば資源として再利用できる物も少なくありません。子ども会では、毎年、地区で出る古新聞や雑誌、古着、アルミ缶などを回収して、資源として再利用する活動を行っています。

7月13日(土)、午前7時前より地区の家々から回収し集積した資源ゴミは、8時前に業者が4トントラックで引き取りにきました。今年はかなり多くの量があり、親子全員で協力して積み込みました。



みんなで協力して積み込みました。



回収したアルミ缶や古着が入った袋。



4トントラックに満載となった資源ゴミ

[大杉神社の森の中で小さな点滅、ヒメボタル観察会]

7月13日(土)、午後7時よりヒメボタルの観察会(地区公民館主催)が開催されました。残念ながら雨になり、他の行事と重なって、参加者は大人3人、子供4人と少なかったです。しかし、雨の中でもたくさんのホタルが光っており、参加者は感動していました。

最初、公民館長によるホタルについての説明があり、暗くなってから傘とライトを手に大杉神社に行きました。境内に上るとすでに小さな光が見れて、ライトを消して真っ暗にするとスギ林の林床から小さな光の点滅があちこちに見られ、その多さに思わず歓声が上がりました。この週が一番多く発生している時期で、7月終りにはいなくなります。



ホタルの説明を聞く参加者



手のひらに載せたヒメボタル

大杉神社の境内で飛ぶヒメボタルの光
(写真提供:D.O.)

ヒメボタル *Luciola parvula* Kiesenwetter 1874

幼虫が陸地で生活する陸生ボタルで、水中で幼虫期を過ごすゲンジボタルやヘイケボタルとは異なる。成虫は体長6mm～9mmで小さく、背面の色は黒色で、前胸部は薄赤く(ピンク色)前方が半円形の黒褐色になっている。成虫の発生は6月終わから7月で、オスは湿度の高い夜間、午後8時から10時ごろにチカチカと小刻みに点滅発光して飛行してメスを探す。メスは翅が退化して飛べない。発生は局地的に限られており、兵庫県下では259の産地が明らかになっており(八木, 2007)、そのうち但馬では34箇所記録があるが、久斗山は含まれていない。



○ 8月の行事

- 1日(木) 人権推進月間街頭啓発活動・・・たそがれコンサート(午後4:00～4:30.JAたじま浜坂支店前)とパレード
- 3日(土) 人権を考える集い(午後1:30～4:00.夢ホール)・・・人権講演会
- 14日(水) 久斗山供養盆おどり
- 17日(土) 久斗山地区人権学習会(午後7:30～8:40.久斗山ふれあいセンター)
- 24日(土) 夏休み、子供自然教室(午前9:00～11:00.久斗山公民館)・・・川の生きもの観察と魚とり



今年のテーマ

「子ども・若者の人権」

8月は差別をなくし人権文化をすすめる町民運動の強化月間(人権月間)です。

学校、家庭、職場、地域などで人権学習及び人権啓発事業が推進されます。地区民のみなさんのご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

○人権学習会の開催

- ・8月17日(土) 19:30～20:40
- ・場所:久斗山ふれあいセンター
- ・内容:人権啓発ドラマ
「君が、いるから」
視聴・講話



今月の野草 ネジバナ

草丈が十センチほどの小さなラン科の草です。日当たりのいい草地に自生し、今の時期に長く伸びた花茎に、小さなピンク色の花がらせん状に連続してつきます。この花茎が右巻き、左巻きに捻じれていたり、まったく捻じれていないものもあります。注意して見ると、比較的身近に花を咲かせています。久斗山公民館のグラウンドの横で見つけました。

かってに昔話

三光鳥の恩返し(第一話)
作、いっこう

三光鳥という鳥は、「月、火、星、ホイホイホイ」と鳴くそう、三つの光ということ、その名前がつけられました。しかし、久斗山では、「九兵衛爺、来い来い来い」って鳴きます。

なんでか? これから、その理由をお話ししましょう。

昔、久斗山の村に九兵衛さんという気のいい爺さんが、気立ての良い婆さんと一緒に住んでいました。九兵衛さんは山菜取りの名人で、今の時期になると、冷たく澄んだ水に育つ、山葵を採りに、山の奥深くまで度々入っていました。

その日も、奥深い沢に入って、山葵を背負いこに山盛り採って帰る途中、木の根元で休憩していると、何やら頭の上でギャーギャーと鳴く騒々しい声がします。ふと見上げると、目元が青い綺麗な鳥が、木の周りを飛びながら騒いでいます。さらに良く見ると、木の枝の又にも巣があって、そこに向かって、今まさに大きな青大将が登っていくところでした。

「おやおや、巢に雛でもないのか? 青大将が狙っていて、これじゃあ、食べられちゃう」
そう言うと、九兵衛さんは、足元にあった木の枝を拾い、その又に青大将をひっかけて、そのまま蛇を沢の下にぽんと放り投げてしまいました。(つづく)

(参考文献:八木 剛 2007, 兵庫県におけるヒメボタルの分布. 人と自然 Humans and Nature, No18, 163-172.)

☆久斗山公民館 【お問い合わせ・連絡先】 新温泉町久斗山628 山本一幸 (Tel0796-85-0118)